

「やさしく強い経済」へ政治変えよう

大門さんフル回転 京都・兵庫8カ所で訴え

大門みきし参院議員（比例候補）は、4、5、6日の3日間、京都、兵庫の8カ所で訴えました。

4日、京都・南丹市では4カ所で市議候補2人を応援。5日は洲本市の演説会で、市議選（27日告示、3月6日投票）をたたかう近藤あきふみ、まもり和生両市議勝利をこむら潤党兵庫県国政委員長らと訴えました。

洲本市で大門さんは、「共産党は批判ばかりではない」として、ワクチンの迅速な接種、PCR検査の拡充、持続化給付金など中小企業支援制度の創設などで果たした役割を紹介しました。また、中国をどうみるかにかかわって、岸田首相のいう「敵基地攻撃」能力について、憲法違反の先制攻撃であり、一触即発の事態を招くと批判。東アジアで広がる平和的解決の枠組みと努力をあげ、「憲法を生かした平和外交の方がよほどリアリティがある」と強調しました。新自由主義の転換、「やさしく強い」経済について縦横に語り、「転換のためには政治を変えるしかない」「参院選で政権交代の足がかりをつくるためにも共産党を伸ばしてほしい」と強調しました。

この日は、明石海峡大橋を渡った対岸、神戸市垂水区で業者後援会のオンラインつどいで訴え。翌日は京都市山科・東山両区のつどいでたけやま・さいこ党京都府女性部長らとともに訴え、夜は中京地区の経済学習会で講演。フル回転の3日間でした。



「やさしく強い経済」を語る大門さん

兵庫 選挙区・こむらさん押し上げへ清水さん訴え

清水忠史前衆院議員は6日、参院兵庫選挙区のこむら潤候補と一緒に元町大丸前で街頭演説しました。こむらさんは、「憲法を守る」ことは共産党の活動に飛び込んだ原点だとのべ、参議院選で憲法を守る勢力大きくしようと呼びかけ。共産党が「やさしく強い経済」を主張していることを紹介し、その実現のためにも、ジェンダー平等の実現と、気候危機打開は避けては通れない課題だと強調。ジェンダー平等の視点を持った政治家を増やそう、男女の賃金格差是正や正社員が当たり前の世の中へ、と一緒に新しい社会をつくらうと訴えました。また痴漢は性暴力であり、鉄道会社に対して防止策の積極的取り組みをすること申し入れた自身の活動や、それが瞬く間に全国に広がったことを紹介しました。

清水さんは、コロナ、「やさしく強い経済」などについて語り、男女間の賃金格差を埋めることで経済成長を遂げてきたアイスランドの例についても紹介。「日本共産党は、ジェンダー平等社会の実現を目指してこれからも頑張ります」と力強く訴えました。



大阪・熊取つどい 清水さんが「?」に答えます

清水忠史前衆院議員は7日、熊取東支部のつどいで党綱領を語りました。コロナ禍のため限定15人としていましたが、17人が参加。「あなたの?におこたえます」に沿う形で党綱領を説明、

「共産党はいいことをやっているのになぜ選挙で伸びないか」など疑問にも丁寧に答えました。「共産党は反対ばかりと思っていたが、なぜ反対しているかがよく分かった」「共産党がどういう政党なのかが理解できた」などの感想が出されました。

22近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 5(2022.2.8)